

平成 22 年度 栄北高等学校・学校自己評価

目指す学校像	安心・充実の学校生活と生徒の夢の実現
--------	--------------------

No. 1

学年・分掌	重点目標	評価項目	達成状況	達成度
総務部	・諸帳簿の管理と整理	・諸帳簿等の保存期間の適正管理を図る	管理規定により適正に実施した	A
		・学校要覧を完成させる	資料収集の途中,継続した作業	C
		・諸帳簿類の電子化を推進する	様式の統一及びペーパレス化を推進。指導要録の電子化検討	B
	・10周年記念行事の計画と実施	・記念式典、祝賀会、記念イベントの計画と実施	計画通り実施した。実施記録はファイルにて保存した	A
		・記念誌の作成、卒業生の動静調査実施	記念誌は完成,動静調査は継続した作業を行う	A
	・保護者会活動の推進	・内容の充実を更に図る	行事の保護者参加数が増加	A
・さとえ新聞を通して、活動内容を積極的に発信する		魅力ある記事の内容に努めた	A	
教務部	・新教育課程実施に伴う準備と検討に入る	・現行教育課程の評価・課題	現行課程と新課程の比較	A
		・新課程の内容把握	新課程表の作成・検討	A
	・教科書販売と時間割について考える	・販売法の検討	現金受け渡しから振込に変更	B
		・時間割作成	時間割作成	A
	・定期試験をスムーズに行う	・定期試験のスムーズな作業	範囲発表の前倒し実施	A
・追試等でトラブル出さない	追試の日程作成	A		
進路指導部	・大学合格目標の達成	・GMARCH以上の合格者の目標達成に全力を尽くす	GMARCH以上ですべて目標達成	A
		・0時限、放課後の演習の充実	0時限は登校時間が徹底できなかった。放課後は充実	B
	・家庭学習習慣の確立	・家庭での学習習慣の徹底	生徒で差がある,より徹底する	B
		・学習時間の確認とやらせる指導の工夫	放課後演習は遅くまで頑張った	B
	・進学行事の充実	・進学行事の準備・反省(内容の充実)	特に問題はなかったが、早めの準備を心掛けたい	B
・新しい行事の発案・検討		特になし	B	
学習指導部	・生徒の学力向上	・教員の指導力向上	研究の教材購入、研修会参加	B
		・教材の精選	反省してより良い教材を採用	A
		・家庭学習の定着	定着する者としめない差がある	B
	・模試の活用	・模試の精選	代ゼミと河合塾実施。良好。	A
		・模試の結果分析	各学年、詳細な分析をしてる	A
・SKYシステムの活用	・常に更新を怠らない	定期的に更新されていた	A	
	・トラブルへの対応	特にトラブルなく問題なし	A	
生徒指導部	・違反行為0件	・善悪の判断を身につける	達成。指導にも素直に従う	A
		・問題行動を減少させる	問題行動の減少	B
		・いじめ早期発見・早期解決	いじめ等発生はほとんどない	A
	・交通事故0件	・自転車・歩行中の携帯電話使用禁止	交通事故の減少が顕著である	A
		・自転車傘指し運転を無くす	ほとんどの生徒が合羽着用	A
		・交通法規を守る	家庭での事故がまだ数件ある	B
	・服装・頭髪を正す	・学年指導の徹底	達成されつつある	A
		・教員の意識改革	温度差あるが良い方向である	B
		・保護者との連絡を密にする	親で異なるが、概ね良好	B
	・欠席・遅刻を無くす	・担任指導の徹底	クラスで少し差あるが、概ね良好	B
・遅刻カード有効利用		くり返し多いが、全体は良い	B	

学年・分掌	重点目標	評価項目	達成状況	達成度
施設・環境部	・ 公用車管理	・ 定期点検実施	ほぼ予定通り点検実施	A
		・ 安全管理	事故等問題なく安全管理した	A
	・ 環境美化	・ 環境衛生に関する点検実施	定期的に実施。ポリッシャーで清掃	B
		・ 環境美化活動の実施	校内・外の美化活動実施 学期ごとに大掃除を実施	A
	・ 防災	・ 防災訓練の実施	計画通り実施	A
		・ 防災管理の定期点検実施	施設点検,不良箇所の修理実施	A
・ 施設設備・備品管理	・ 良好な教育環境の確保	不具合,修理箇所その都度改善	A	
	・ 各教科ごとによる備品管理体制	概ね良好	A	
募集・広報部	・ レベルアップ	・ レベルを上げる	入学者のレベルはアップしてる	B
		・ 人物重視	年々良くなっている	A
事務	・ 事務業務の合理化	・ 業務の合理化等	PC等有効活用し合理化した	B
		・ 業務分担の見直等	業務を明確化し業務分担した	B
	・ 節約	・ 印刷用紙の節約等	裏紙利用、両面印刷等徹底	A
		・ 節電、節水等	朝会、会議等で周知徹底した	B
第1学年	・ 基本的な生活習慣の確立	・ 挨拶の励行、学校ルール守る	校則や社会秩序遵守,良い生活	A
		・ 忘れ物はしない、提出物等の厳守	提出物で保護者と連絡が滞ったりはしなかった	A
		・ 遅刻をしない、時間の概念を的確に教授	ほぼ9割の生徒は遅刻はなかったが一部指導を要した	B
	・ 学習習慣の確立と部活動等の両立	・ 学年目標の自主学習、家庭学習の実践	朝、夜の家庭での学習を推進。 比較的良好であった	B
		・ 進路の目標を持たせ、対策を早めに行う	模擬テスト対策や進路相談等内外問わず実践した	A
		・ サテライン、補習、部活動との両立	朝補習や演習,サテライン等実施したが,一部先細りあった	B
	・ 心身共に強い精神力を持たせる	・ 精神的に不安な生徒への指導	登校する際に病気になる等2名の生徒が改善されてない	B
		・ 統一指導により、一貫した指導の徹底	学年で徹底した統一した指導により、良い形で終えた	A
		・ 何ごとにも自信を持たせ、やる気を起こさせる	ほめて育てることも取り入れ落ち込みなくすることを実施	A
	第2学年	・ 基本的な生活習慣の実践	・ 出席率の向上	若干出欠不良者が他良好
・ 挨拶・服装・頭髪の指導			日頃より継続的に指導	B
・ 学力の向上		・ 平常の授業をしっかりと受けさせる	概ね良好である	A
		・ 放課後の補習を充実させる	類型ごと実施、継続	B
		・ 小テストをこまめに実施し、成果を上げる	概ね良好である	A
・ 保護者との連携		・ 家庭との連携を密にする	心配な生徒は面談等実施	B
第3学年	・ 進路実現への努力	・ 積極的に準備することができたか	概ね良好で積極的に進路実現に取り組めた。	A
		・ 計画的に学習することができたか	概ね良好。教師の適切な指導で学習し成果をあげた。	A
	・ 基本的な生活習慣と態度の完成	・ 自己を律することができたか	抑制してたが、十分ではない。	B
		・ 集団の中で適切に行動出来たか	指摘されれば気づくが、自主性に欠けるところがあった。	B
		・ 他者に配慮して行動できたか	進路未決定者への配慮ある行動が見られた。	B